

第3回 既設ダム有効活用アドバイザー会議の開催結果について

会議日時:平成18年7月6日(木)13:00~15:30

会議場所:京都ガーデンパレス(2階・祇園の間)

出席者 :既設ダム有効活用アドバイザー(座長筆頭・以下五十音順)

立命館大学工学部	中川 教授(座長)
徳島大学大学院	
ソシオテクノサイエンス研究部	岡部 教授
京都大学工学部	角 助教授
神戸大学工学部	道奥 教授

【議事主旨(指摘事項等)】

1. 既設長安口ダムの治水対策に関する検討について

・オリフィスゲート新設について、3次元レベルの解析結果より2門案、3門案とも対応可能との結果が示された。今後は、不確定要素もあることから、堤体周辺の応力解析、経済性、施工性、維持管理のしやすさ、危機管理も含め総合的に検討すべきである。

2. 既設長安口ダムの堆砂対策に関する検討について

・流域全体の土砂収支バランスを考慮し、将来(中期的30年、長期的100年後)において、基本計画(那賀川水系河川整備基本方針や検討中の河川整備計画)との整合性が図れるか検討する必要がある。

・下流置土が河川環境に及ぼす影響については、重要箇所を抽出し、試験置土のモニタリングや2次元河床変動解析により検討しておくべきである。

平成18年7月18日(火)
国土交通省四国地方整備局
那賀川河川事務所
徳島県 県土整備部

問合せ先

国土交通省四国地方整備局 那賀川河川事務所
電話(0884)22-6461

副所長 藤岡 康男 内線(204)

調査課長 野本 粹浩 内線(351)

徳島県 県土整備部 流域整備企画課
電話(088)621-2636

流域整備企画課 主幹 松野 幸博